



World Stella News

Vol-26



2024.6.4



一般社団法人 地球環境改革再生機構

東京本部 東京都豊島区巢鴨 1-10-3 第三川端ビル 2階

広島Office 広島市中区舟入町 2-20 三栄広島ビル 4階

E-mail : info@jwstec.co.jp URL : <https://global-er.net/>

● 日本各地での勉強会（6月の予定）13:00～15:00 まで

- (1) 6月5日(水) 大阪（ココプラザ：大阪市東淀川区東中島1丁目13-13 504号）
- (2) 6月7日(金) 福岡（エイムアテイン博多駅東オフィスニューガイア：5階5J：福岡市博多区博多駅東1-12-17）
- (3) 6月18日(火) 東京（東京学院（池袋）601会議室：東京都豊島区西池袋5-4-6）
- (4) 6月24日(月) 福井（JR福井駅東口駅前：福井市地域交流プラザ アオッサ 602号）



講師 代表理事
太田 雄一

6月のテーマは「電解電子機能水とは」です。

※事前の申込みなく聴講できます。東京についてはZOOM参加も可能です。

この当法人主催の勉強会は、「電解電子機能水」及び「多元素共存鉱石」について、一人でも多くの方に正しく認識していただくために開催しております。従って、商売に関する勉強会ではありませんのでご了承ください。

また、**当法人の装置でつくるOEM商品は、MLM（マルチレベル マーケティング：連鎖販売取引）及びこれに類する販売を厳しく禁止している**ので、商品の購入にあたっては、この点に十分ご注意ください。

● ホームページの改編について

現在、ホームページを改編しております。

- ・「防疫」を削除し、「入浴」を新設しました。
- ・「ライブラリー」の資料を「資料編」に移しました。
- ・「ライブラリー」に入っていた「ステラの会」は、「情報室」に移しました。
- ・6月3日(月)以降、土日祭日を除く毎日、「おはようございます。太田雄一です。」を代理店の方々にSNSで届けます。電解電子機能水生成装置の開発に、どのような試行錯誤がなされたのか、「電解電子機能水」とは何なのか、「多元素共存鉱石」の特徴についても分かりやすく説明します。また、海外、国内における実績及び今後の予定についても分かりやすく説明します。

● 海外の状況について

● 中国

2024年6月6日から北京事務所が再スタートします。

その第一は、山東省青島で行っているリンゴの再生事業です。中国のリンゴの生産量は世界一で全世界の生産量の1/2です（全世界の生産量：83,139千トン、中国の生産量：41,390千トン）。ところがそのリンゴが先祖返りを起こしています。元々中国のリンゴは「ふじ」であり、その「ふじ」とは日本の「国光」とアメリカの「レッドデリシャス」の掛け合わせによってつくられた品種です。この「ふじ」が近年小さくなり、酸っぱくなっていること及び生産量が格段に低下していることから、中国では大きな問題となっています。そのリンゴの再生事業を中国山東省で行った結果、94%の再生率を示しました。中国、李博士からの報告です。中国農林部による100haでのテスト結果)



【リンゴの生産状況】



【完全な無農薬、無化学肥料農法である】

● ベトナム

ベトナムから3人の技術者が来日します。その目的はベトナムで飲料水をつくり、販売することです。その飲料水を作る大型装置の大半は既にベトナムに届いており、7月には装置の最終組み立て、稼働、販売になると思います。ベトナムにはビン、ホーチミンなど、複数台の装置が納入されており、今後も多くの装置が設置されようとしています。



【ベトナム、ビンの生成装置】

● 国内の状況について

コロナ禍において、電解電子機能水生成装置の部品の一部は、調達に850日を要するものもあり、在庫で対応してきました。調達に長期間を要した部品の納期は、2~3か月に短縮されましたが、依然として隔膜、電解槽などの基幹部品の調達には2か月を要しております。消耗品である隔膜交換の目安は300~400時間です。調達には約2か月を要しますので、電源ボックス前面右下のカウンターメーターの運転時数を見て、余裕のある注文をお願いします。